

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、18～21℃台を示し、やや高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり14kgの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり746kgの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり63kgの水揚げで、前週の72%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.5トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり416kgの水揚げ。五島魚目地区では、マアジなどが1日1統当たり137kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり261kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり250kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり327kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり7kgの水揚げで、前週の39%（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/14～5/18の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、アカイカ漁場向け出漁。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延8隻、総計374箱、1航海最高114箱、平均46.8箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-11号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>